守谷市議会

議長 寺田文彦 様

報告者 滝川竜雅 菊地詩子

議会報告会報告書

開催日時:令和6年10月5日

開催場所:大会議室

出席議員:議長 寺田文彦、副議長 長谷川信市、梶岡香織、椎名愛子、滝川

竜雅、菊地詩子、小菅勝彦、海老原博幸、首藤太亮、田中啓一、山

本広行、渡辺大士、堤茂信、高梨隆、青木公達、山田美枝子、高梨

恭子、髙橋典久、梅木伸治(19名)

大井沢まちづくり協議会: 12名

司会進行:高橋典久

【会議の流れ】

- 開会
- 議長挨拶(参加者への御礼)
- 出席議員の自己紹介
- 大井沢まちづくり協議会 須賀会長の挨拶
- 出席議員自己紹介
- 報告・質疑
- 意見交換
- 閉会

【市議会からの報告】

○予算決算特別委員会 報告者:首藤太亮委員長

報告概要:令和5年度決算審査について

質問1 ふるさと納税は市のお金としてどのくらい使えたか。

回答1 ふるさと納税は年々増えている状況。守谷市の財政を支えている。 使える金額は概ね半額。

質問2 特別会計の国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の歳入歳出の 立て方は。

回答2 県が主体となっている。県から請求が来て、足りない分は一般会計で補填している。

質問3 ふるさと納税の使い方で、資金があるのなら子供たちのために使って欲しい。

高校無償化、給食無償化など。また、将来の歳出に備えておくべき と二つの意見があった。市議会としては。

回答3 小中学校の体育館にエアコン設置や改修工事にもふるさと納税が使われている。小中学校の体育館エアコン設置は来年度には全校に設置が完了する。給食費無料は、現在議論になっているが、今は市で一部負担している状況。国の動向を見ている。

〔令和6年度 守谷市議会事業評価の提言〕

○総務教育常任委員会

報告概要:総合教育支援センター事業について

質問1 フリースペースの利用は何%ほどか。

回答 1 出現率は小学校 1.8%、中学校 6.9%となる。利用人数は記載がないので調べさせていただきます。

質問2 フリースペースの効果は。

回答2 開始したばかりなので実際に一般教室へ行った人数を把握はしてな

いが、フリースペースに来るだけでも、普通教室に行くための一つのステップ となっている。

質問3 10年ほど前からインクルーシブ教育を展開していると思うが、インクルーシブ教育をすると教員の負担が増えるということで、支援職員を手配したと思う。支援職員は足りているのか。各学校何人いるか。

回答3 インクルーシブに関しての人数は把握していない。 フリースペースの増設で最低でも二人をつけると提案している。

質問4 フリースペースの支援員は各地区に一人はいるのか。

回答4 定員でいるわけではない。教室によって人数がまばらなので、ばら つきがある。

○都市経済常任委員会

報告概要:公共交通運行事業について

意見1 モコバス運行当初は「空気を運んでいるだけ」と言われていたが、 今は「空でもいいから走らせてほしい」との意見が多い。少々の赤字を出して も公共交通にお金をかけてはどうか。バスが走っているだけで市民の安心安全 になると思う。

質問1 デマンド交通の利用対象者は高齢者限定か。

回答1 高齢者に限っている。若い方のもという話も出ているので、今後緩和していきたい。

意見2 運転できない方は高齢者だけではなく、運転免許を取得できない高校生以下の子どもたちも利用できると保護者も助かる。その他、運転できない方も利用できればいいのでは。

デマンド交通は高齢者だけでなく、付き添えもつけて障害者も使える。 利用者の幅を広げた方がいい。

○保健福祉常任委員会

報告概要:保育人材確保事業について

質問1 保育士の人材不足、予算規模について。

回答 1 令和 6 年度になり、定数と働く方の差がほとんどなくなったが、まだまだゆとりがない。予算の規模は今、300 万円というのが年間の予算規模であり、この金額は少ないと感じている。これからこの金額が適正なのか協議していきたい。

○ (仮称) 守谷市総合公園の設置及び松ヶ丘六丁目私有地の利活用に関する特別委員会

報告概要:(仮称)守谷市総合公園の設置及び松ヶ丘六丁目私有地の利活用に ついて

質問1 総合運動公園が完成したのちの道路整備について、イベントなどで何百台もの車が来場するとき、生活道路に侵入してきてそこに住む市民が不安に感じているが、その対策は。

回答1 看板の設置や、大人数の来場が見込まれる予定があるときは誘導員の設置を義務付けることを考えており、行政もそのように考えているとの回答を頂いている。

○意見交換

要望1 都市計画道路の早期実現を目指し、計画を進めてほしい。

要望2 新滝下橋の進捗について、ヤクルト2軍球場やスマートインターチェンジができることから、滝下橋のこれ以上の混雑が見込まれるため、早急に

協議を行ってほしい。